

# 編 修 趣 意 書

## (教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-1	高等学校	地理歴史	日本史A	1～3
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7実教	日A313	新日本史A 新訂版		

### 1. 編修の基本方針

- 2条の目標を達成するため、次の通り編修した。
- ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、社会史などの歴史学の新しい研究成果をとりいれ、さまざまな角度から日本史学習をより深めることができるコラム「トピック」や特設ページ「歴史を深める」を設けた（第1号）。
  - ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物を「人物スポットライト」で取り上げ、彼らとその能力や創造性によって日本史上に果たした意義などを記述した。また、生徒が主体的に学習できるよう図版を活用した問いかけ「考えてみよう」を各ページに入れたほか、課題例や調査方法を盛り込んだ「近代の追究」「現代からの探究」などの主題学習ページを設けた（第2号）。
  - ・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、コラム「人物スポットライト」や図版などで各時代、さまざまな分野で活躍した女性を多く取り上げた（第3号）。
  - ・生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、前見返し「日本の世界遺産」のなかで日本の自然遺産を取り上げた。また、産業の発達にともなう社会問題の発生とその克服について歴史的な視点から取り上げた（第4号）。
  - ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、前見返し「日本の世界遺産」で日本の文化遺産を取り上げたほか、第2部「地域からみた日本」では各地域の風土と歴史のなかで育まれてきた伝統・文化を取り上げた（第5号）。

### 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うとともに、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、「日本の世界遺産」を日本地図のなかで概観した（第4・5号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、日本とアジア・太平洋地域の近現代史を概観できる年表を設けた（第5号）。</li> </ul>	前見返し 1～2  前見返し 3
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、前近代の歴史を概観した（第1号）。</li> </ul>	p. 4～9
私たちの時代と歴史 パスポートの歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、主体的な学習および調査の方法を例示した（第2号）。</li> </ul>	p. 11～13

第1章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、章扉に世界地図や年表などを設け、19世紀半ばの世界、東アジア、日本の状況を概観した(第1号)。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、社会史などの歴史学の新しい研究成果をとりいれ、多様な角度から日本史学習を深めることができるコラムや特設ページを設けた(第1号)。</li> <li>・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって日本史上に果たした意義などを記述した(第2号)。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が興味関心をもって主体的に日本史学習ができるよう、各見開きの冒頭に、図版を活用して考えさせる「考えてみよう」を置いた(第2号)。</li> <li>・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、自由民権運動と女性の関わりについても取り上げた(第3号)。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、明治初期の文化や外国との文化交流について記述した(第5号)。</li> </ul>	<p>p. 14～15</p> <p>p. 15, 16, 19, 23, 25, 31, 33, 34, 39, 36～37</p> <p>p. 20, 27, 29, 35, 38</p> <p>p. 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30, 32, 34, 38</p> <p>p. 28～29</p> <p>p. 34～35, 38～39</p>
第2章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、章扉に世界地図や年表などを設け、19世紀末～20世紀初頭の世界、東アジア、日本の状況を概観した(第1号)。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、社会史などの歴史学の新しい研究成果をとりいれ、多様な角度から日本史学習を深めることができるコラムや特設ページを設けた(第1号)。</li> <li>・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって日本史上に果たした意義などを記述した(第2号)。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が興味関心をもって主体的に日本史学習ができるよう、各見開きの冒頭に、図版を活用して考えさせる「考えてみよう」を置いた(第2号)。</li> <li>・生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、公害としての足尾銅山鉍毒問題について詳述した(第4号)。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、日清・日露戦争前後の近代文化について記述した(第5号)。</li> </ul>	<p>p. 40～41</p> <p>p. 45, 48, 52, 55, 59, 50～51</p> <p>p. 41, 43, 46, 54, 57</p> <p>p. 42, 44, 46, 48, 52, 54, 56, 58</p> <p>p. 58</p> <p>p. 54～55</p>
第3章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、章扉に世界地図や年表などを設け、第一次世界大戦下の世界、東アジア、日本の状況を概観した(第1号)。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、社会史などの歴史学の新しい研究成果をとりいれ、多様な角度から日本史学習を深めることができるコラムや特設ページを設けた(第1号)。</li> <li>・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって日本史上に果たした意義などを記述した(第2号)。</li> </ul>	<p>p. 60～61</p> <p>p. 61, 65, 66, 68, 70～71</p> <p>p. 63, 64, 67, 69, 73</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が興味関心をもって主体的に日本史学習ができるよう、各見開きの冒頭に、図版を活用して考えさせる「考えてみよう」を置いた（第2号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、大正デモクラシー期の文化について取り上げた（第5号）。</li> </ul>	<p>p. 62, 64, 66, 68, 72</p> <p>p. 63</p>
第4章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、章扉に世界地図や年表などを設け、1920年代の世界、東アジア、日本の状況を概観した（第1号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、社会史などの歴史学の新しい研究成果をとりいれ、多様な角度から日本史学習を深めることができるコラムや特設ページを設けた（第1号）。</li> <li>・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって日本史上に果たした意義などを記述した（第2号）。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が興味関心をもって主体的に日本史学習ができるよう、各見開きの冒頭に、図版を活用して考えさせる「考えてみよう」を置いた（第2号）。</li> <li>・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、大正期における女性たちの新しい言論活動や文化について、日本を含めた東アジアの視点から詳述したほか、その後の女性解放をめぐる動きに大きな影響を与えた女性たちをコラムで取り上げた（第3号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、1920年代の都市文化や農村社会の文化について記述した（第5号）。</li> </ul>	<p>p. 74～75</p> <p>p. 76, 86, 87, 82～83</p> <p>p. 75, 77, 78, 79, 80, 81, 85, 89</p> <p>p. 76, 78, 80, 82, 84</p> <p>p. 76～78</p> <p>p. 80～81</p>
第5章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、章扉に世界地図や年表などを設け、第二次世界大戦下の世界、東アジア、日本の状況を概観した（第1号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、社会史などの歴史学の新しい研究成果をとりいれ、多様な角度から日本史学習を深めることができるコラムや特設ページを設けた（第1号）。</li> <li>・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって日本史上に果たした意義などを記述した（第2号）。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が興味関心をもって主体的に日本史学習ができるよう、各見開きの冒頭に、図版を活用して考えさせる「考えてみよう」を置いた（第2号）。</li> <li>・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、戦時下の女性についての記述を本文やコラムで充実させた（第3号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、1930年代の都市文化などについて記述した（第5号）</li> </ul>	<p>p. 90～91</p> <p>p. 91, 94, 97, 99, 101, 103, 111, 106～107</p> <p>p. 92, 95, 103, 105, 109</p> <p>p. 92, 94, 96, 98, 100, 102, 104, 108, 110</p> <p>p. 98～99, 102～103, 109 など</p> <p>p. 94～95</p>

<p>近代の追究 東京とアイヌの歴史</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、主体的な学習および調査の方法を例示した（第2号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、東京に来たアイヌを事例に地域社会の歴史を概観した（第5号）。</li> </ul>	<p>p. 112～115</p>
<p>第6章</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、章扉に世界地図や年表などを設け、冷戦前期の世界、東アジア、日本の状況を概観した（第1号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、社会史などの歴史学の新しい研究成果をとりいれ、多様な角度から日本史学習を深めることができるコラムや特設ページを設けた（第1号）。</li> <li>・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって日本史上に果たした意義などを記述した（第2号）。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が興味関心をもって主体的に日本史学習ができるよう、各見開きの冒頭に、図版を活用して考えさせる「考えてみよう」を置いた（第2号）。</li> <li>・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、女性参政権の実現と女性議員の誕生、1950年代の平和運動と女性のかかわり、職場や地域における女性の活動などを、本文やコラムなどで取り上げた（第3号）。</li> <li>・正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、近現代日本の裁判の歴史について概観した（第3号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、1950年代頃の大衆文化や地域社会の文化活動について記述した（第5号）。</li> </ul>	<p>p. 116～117 p. 121, 122, 129, 130, 133, 139, 126～127 p. 117, 119, 123, 125, 131, 132, 134 p. 118, 120, 122, 124, 128, 130, 132など p. 120～121, 123, 134～137 p. 126～127 p. 136～137</p>
<p>第7章</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、章扉に世界地図や年表などを設け、冷戦後期の世界、東アジア、日本の状況を概観した（第1号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、社会史などの歴史学の新しい研究成果をとりいれ、多様な角度から日本史学習を深めることができる特設ページを設けた（第1号）。</li> <li>・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、その能力や創造性によって日本史上に果たした意義などを記述した（第2号）。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が興味関心をもって主体的に日本史学習ができるよう、各見開きの冒頭に、図版を活用して考えさせる「考えてみよう」を置いた（第2号）。</li> <li>・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、高度経済成長期の新たな家族形態、ウーマン・リブ、1980年代以降の女性労働者の増加などを記述した（第3号）。</li> <li>・生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、高度経済成長期の公害問題とその対策としての環境庁の設置などを記述した（第4号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、高度経済成長期の生活文化について記述した（第5号）。</li> </ul>	<p>p. 140～141 p. 143, 145, 146, 147, 149, 151, 154～155 p. 141, 144, 150, 161 p. 142, 144, 146, 148, 150, 152 p. 148～149, 152～153 p. 146～147 p. 148～149</p>

第 8 章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、章扉に世界地図や年表などを設け、地域・民族紛争や先進国と発展途上国の経済格差、東アジアの域内貿易など、現代の世界、東アジア、日本の状況を概観した（第 1 号）。</li> <li>・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、現代の若者たちの文化活動についてコラムで取り上げた（第 2 号）。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が興味関心をもって主体的に日本史学習ができるよう、各見開きの冒頭に、図版を活用して考えさせる「考えてみよう」を置いた（第 2 号）。</li> <li>・正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、21 世紀の新しい時代をどのように生きていくかについて、18 選挙権にもふれながら記述した（第 3 号）。</li> </ul>	p. 156～157  p. 165  p. 158, 160, 162, 164  p. 164～165
第 2 部 地域からみた日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、日本の各地域の風土と歴史のなかで育まれてきた伝統・文化を取り上げた。また、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、戦後の日本と旧植民地とのかかわりについて概観した（第 5 号）。</li> </ul>	p. 166～182
現代からの探究 エネルギー政策の 歴史と現在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、主体的な学習および調査の方法を例示した（第 2 号）。</li> <li>・生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、戦後日本のエネルギー政策の歴史や再生可能エネルギーにかかわる取り組みなどについて記述した（第 4 号）。</li> </ul>	p. 183～185
内閣のあゆみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する観点から、歴代内閣の一覧を掲載した（第 5 号）。</li> </ul>	p. 186～189
後見返し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する観点から、政党変遷図を掲載した（第 5 号）。</li> </ul>	後見返し 5～6

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・学校教育法第五十一条三項（社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと。）に即して、本文記述や特集など教科書全体を通じて、国際社会に生きる高校生が日本の歴史を世界の歴史と関連付けながら理解し、現代社会が抱える課題についても考察することができるよう配慮した。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-1	高等学校	地理歴史	日本史 A	1～3
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	日 A313	新日本史 A 新訂版		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

「日本史 A」が地理歴史科の基礎科目であることを鑑み、生徒が興味・関心を持ちながら、基礎的・基本的な事項を無理なく学習できるように、以下の点について配慮した。

- 1) 近現代の日本の歴史の大きな枠組みと展開を理解し、興味・関心をもって楽しく日本史を学べるよう、全編にわたって平易な文章表現でわかりやすく記述した。
- 2) 地図や写真など図版を豊富に掲載することにより、歴史をイメージ豊かに学習できるようにした。また、生徒が興味・関心をもって主体的に日本史学習に取り組めるよう、各見開きの冒頭に、図版を読み解いて考えさせる「考えてみよう」という問いかけを置いた。
- 3) 各見開きタイトルの下に、これから何を学習するのかを問いかけの形で入れ、生徒一人一人が問題意識をもって授業に向かえるようにした。
- 4) 近現代史において重要な足跡を残した人物を取り上げ、日本史上に果たした意義や興味深いエピソードを記述したコラム「人物スポットライト」を随所に設けた。
- 5) 多様な視点から日本史学習を深め、生徒の興味・関心を高められるよう、社会史などの新しい研究成果を盛り込んだコラム「トピック」や特設ページ「歴史を深める」を随所に設けた。
- 6) 本文を理解するうえで重要な概念や用語については、側注で丁寧に解説した。
- 7) 各章の扉に、その章であつかう時代の世界地図や世界史・日本史年表などを置き、同時代の世界、東アジア、日本の動きを関連付けながら学習できるようにした。
- 8) 第 2 部「地域からみた日本」では、日本列島を 9 つの地域に分け、それぞれの近現代史とそのなかで育まれてきた伝統・文化を概観することによって、地域の視点から日本の近現代を考えさせるようにした。
- 9) 各見開きの左端にインデックスを設け、それを前見返し裏の年表「アジア・太平洋地域のなかの日本のあゆみ」に照らし合わせることで、各見開きで扱っている時期におこった主要な出来事や、当時のアジア・太平洋地域の状況を確認できるようにした。
- 10) 近現代を対象とする科目という性格をふまえたうえで、中学校段階までの歴史学習とのつながりにも配慮し、本編に入る前の資料として、前近代の歴史の流れを簡潔にまとめたページを置いた。

- 11) 生徒が学んだ知識を活用して自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し成果などを表現するために必要な思考・判断・表現力を養うため、課題例や調査方法を盛り込んだ「近代の追究」「現代からの探究」などの主題学習ページを設けた。
- 12) 近代国家の形成期に、我が国の領土がロシアなどとの間で国際的に画定されたこと、また我が国が国際法上正当な根拠に基づき竹島、尖閣諸島を正式に領土に編入した歴史的経緯について取り上げた。
- 13) 近現代史上の主要な出来事がどの内閣のときに発生したかを確認するため、巻末特集「内閣のあゆみ」を設け、時間的な流れを理解しやすくした。

## 2. 対照表

図書構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
私たちの時代と歴史 パスポートの歴史	(1)私たちの時代と歴史	p. 11～13	3
第1章 近代国家と社会の形成 第2章 二つの戦争と大日本帝国 第3章 帝国とデモクラシー 第4章 デモクラシーの展開と帝国 の変容	(2)近代の日本と世界 ア 近代国家の形成と国際 関係の推移	p. 14～51 p. 60～63 p. 78～79 p. 86～87	19
第2章 二つの戦争と大日本帝国 第3章 帝国とデモクラシー 第4章 デモクラシーの展開と帝国 の変容 第5章 アジアの戦争と第二次世界 大戦	イ 近代産業の発展と両大 戦をめぐる国際情勢	p. 52～85 p. 88～111	19
近代の追究 東京とアイヌの歴史	ウ 近代の追究	p. 112～115	3
第6章 現代日本の源流 第7章 冷戦のなかの経済成長 第8章 現代の日本	(3)現代日本と世界 ア 現代日本の政治と国際 社会	p. 116～135 p. 138～145 p. 150～151 p. 156～163	9
第6章 現代日本の源流 第7章 冷戦のなかの経済成長 第8章 現代の日本	イ 経済の発展と国民生活 の変化	p. 122～125 p. 128～129 p. 136～137 p. 146～153 p. 164～165	8
現代からの探究 エネルギー政策の歴史と現在	ウ 現代からの探究	p. 183～185	3
		計	64